

## 平成 15 年度「特色ある大学教育支援プログラム」

## 採択取組の概要および採択理由

大学・短期大学名	北里大学	整理番号	1-2-108
応募テーマ	主として教育課程の工夫改善に関するテーマ		
取組名称	新時代の医療を担う薬剤師養成教育の実践		
申請単位	学部単位		
申請担当者	小宮山 貴子		
(取組の概要)			
<p>北里大学は、日本の薬学教育に不足していた「医療人としての質の高い薬剤師養成」の教育を、実務実習とその事前教育の工夫改善によって充足し、基礎薬学と臨床薬学を両輪とする「新時代の薬学教育モデルの構築」を目指して長年にわたり段階的に取組んできた。同じキャンパス内にあり、教育連携をとる北里研究所病院内に薬学部臨床薬学研究センターを設置したほか、2つの大学附属病院や実習委託薬局、米国ケンタッキー大学など国内外の諸機関と密接な教育連携を図りつつ、学士課程と修士課程を連結させた薬学6年一貫教育モデルを体系化した。学年毎に、到達目標と方略、教育成果の評価法を設定すると同時に、患者の視点を有したヒューマニティーの育成など、教授法や実習方法にも工夫を加えた。本取組は、これら教育課程の工夫改善を通して、学生に「薬の専門家」としての責任の重さを強く認識させ、医療現場で高度に役立つ薬剤師を養成しようとするものである。</p>			
(採択理由)			
<p>「薬学基礎教育と医療現場の有機的連携」および「実践能力に長けた薬剤師の養成」を目的として提案されたプログラムです。現在の薬剤師養成教育にあっては、医療の現場に役立つ人材の育成が求められており、本プログラムは学部ばかりでなく修士課程までも取り込んだ「臨床薬学」を重視する教育体制に特色があり、現在議論の進んでいる薬学部6年制のモデルとして考慮されるべきものと考えられます。</p> <p>しかし、現行制度下では学部卒業後に国家試験受験資格が与えられ、薬剤師となったものが今回提案されたような修士課程の教育を受ける機会が少ない状況にあり、したがって、現職薬剤師のリカレント教育という観点からも本プログラムが利用されることを希望します。</p>			